



伊勢山小学校だより あいさつ ともだち チャレンジ やくそく

やまびこ

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/iseyama/>



2023/3/6 発行
発行者 伴 英子

臨時号

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

今年度実施した「学校評価アンケート」「体力テスト」の集約結果をご報告します。ご多用の中、アンケートへご協力頂きありがとうございました。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、よりよい伊勢山小学校をつくっていきたいと思います。

学校評価アンケート



【児童アンケート】

多くの項目で、子ども達が伊勢山小学校での学校生活を肯定的にとらえていることが窺えます。

○学習について

- ・「自分からすすんで学習に取り組んでいるか」という項目について高い数値が出ていて、児童が主体的に学習に取り組んでいる様子が伺える。
- ・「自分の考えを伝えながら学習しているか」という項目でも、高い数値が出ている。今後も、友達と伝え合うことで自分の考えを深めていけるような学習計画の工夫を継続していきたい。

○豊かな心について

- ・「自分はみんなの役に立っていると思いますか」という項目においては、昨年に引き続き、低い数値となっている。継続して今後児童一人ひとりのアセスメントをしっかりと行うことで、「自分づくり」「仲間づくり」「集団作り」、さらには「学級・授業づくり」に生かしていくとともに、様々な行事や人権週間の取組等を通して、自尊感情を高めていきたい。

○健やかな体について

- ・運動集会などの活動を通して、健康に対する意識が高まっていると考えられる。今後も、積極的に楽しく体を動かすことができるような場を設けて、体力の向上を図っていきたい。
- ・「廊下や階段の歩き方」については、今年度も数値的に低く、「安全な校舎内での過ごし方」の意識が高まるよう、さらなる指導の工夫が必要であると考えられる。
- ・「感染予防」「登下校での安全」については、いずれも高い数値を示していて、「伊勢山スタンダード」を基にした指導が定着していると考えられる。

○あいさつについて

- ・学援隊や見守り隊の方々をはじめ、地域、保護者の方による児童への挨拶・声かけによって、自分たちからすすんであいさつをする習慣が身に付き、気持ちよく挨拶する姿が見られる。今後も、ペア学年や地域の方々との様々な活動を通して、人と関わる力を育てていきたい。

○キャリア教育について

- ・アンケート結果から、夢や希望をもって生活している児童が多いことが窺える。今後も、人権週間の取組や総合的な学習の時間の取組等を通して、児童が夢をもって生活することができるよう、人材や施設の活用や体験活動の充実を図っていきたい。

○「いじめ」について

- ・いじめに対する意識は高く、身近に相談しようと思う人もいと答えた児童が多く、日常生活の中での問題解決に向かう力がつきつつあると考えられる。今後も、横浜プログラム等を効果的に用いて、安心できる学級づくり、学校づくりをすすめていきたい。

【保護者アンケート】

グラフで示した通り、多くの項目で、肯定的な回答が75%を超えており、伊勢山小学校の教育活動において、おおむね達成していると評価していただいたことが分かります。

○学習について

- ・「児童の主体的な学習のための活動の場の工夫」で高い結果がでている。40分授業や教科担任制の取組による、個に応じた丁寧な指導が、児童の主体的な学びへとつながったと考えられる。今後も、児童一人ひとりを大切に丁寧な指導を心がけていきたい。

○豊かな心について

- ・昨年度に引き続き、異学年交流に関する項目で高い数値が出ている。行事や各教科を通したペア学年での活動や地域の方とのつながりなど、本校が継続して力を入れてきた活動の成果ととらえられる。

○健やかな体について

- ・学校での活動のみではなく、放課後や休日の過ごし方についても、各家庭と確認し、体力面の向上を、引き続き図っていきたい。

○あいさつについて

- ・「自分たちからすすんであいさつをする習慣が身に付いている」ととらえる肯定的な回答が多い。学援隊や見守り隊の方々をはじめ、地域、保護者の方による児童への挨拶・声かけによって、子ども達が安心して過ごすことができるよう、今後も学校、家庭、地域で連携していきたい。

○キャリア教育について

- ・昨年度に引き続き低い数値となっている。「キャリアパスポート」や「児童ふりかえりカードの共有」の点で、まだ工夫の余地があると感じる。今後も、ご家庭にしっかり情報発信することで、保護者・地域・学校が一体となって、キャリア教育の推進を図れるよう努力していきたい。

○いじめについて

- ・組織的に、いじめの未然防止や解決に努めていることを評価して頂けている。今後もさらに、いじめ未然防止への取組や、いじめ事案への組織的な対応について発信し続けていくことで、保護者も児童も安心して過ごすことのできる学校づくりに努めていきたい。

今後も、子ども達が学ぶ楽しさを味わいながら、学校生活を送ることができるよう、全職員で児童の支援を行っていきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。